

陸上自衛隊音楽隊の奏でる美しいハーモニーがステージを彩ります。

「三茶CBRNレスキュー 2022」と題し、テロ対応共同実働訓練を展示了。

ポップスからバラードまで、Final Approachによる多彩な音楽にアリーナが盛り上がりました。

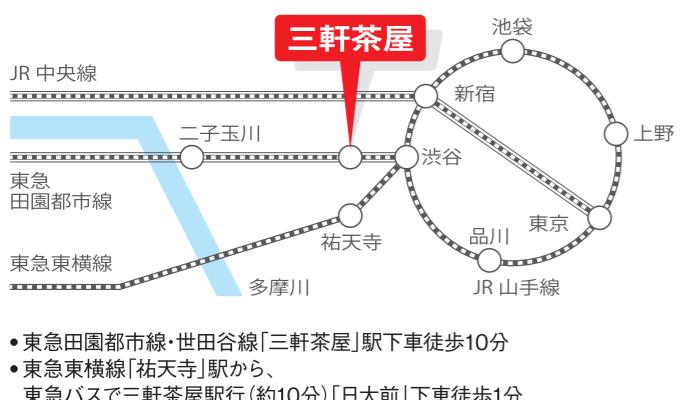
実際の器具を使った競技体験。写真は競技車椅子体験の様子。

第6回の三茶祭は、対面とオンラインのハイブリッド開催となりました。「Face to Fes. ~ひかえめに言ってちゃいこう~」というテーマを掲げ、対面だからこそ叶う特別な「出逢い」に期待し、三茶祭だからこそできる最高の体験と喜びを感じるという想いを込めた2日間です。2年ぶりの対面開催となった三茶祭を写真とともににお楽しみください。

ACCESS アクセス

三軒茶屋キャンパスから新しい学びを発信。

東急田園都市線の渋谷駅から急行で一駅、三軒茶屋駅から歩いて約10分。都心型のキャンパスから、日本の未来に貢献する学びを発信していきます。



CONTACT 問い合わせ先

日本大学三軒茶屋キャンパス

〒154-8513 東京都世田谷区下馬3-34-1 TEL:03-6453-1600 Eメール:adm.rmss@nihon-u.ac.jp

https://www.nihon-u.ac.jp/risk_management/

college of
RISK

N.
日本大学
危機管理学部

RISK MANAGEMENT

MENIT



NIHON UNIVERSITY

GUIDE BOOK 2024

危機管理学部



Evolution

1 新カリキュラム施行 キーワードは「レジリエンス(復元力)」

2022年度から新カリキュラムを施行し、新たなキーワードとして「レジリエンス(復元力)」を学びの中核に置いています。雨風で倒れた草木が再び力強く立ち上がるよう、災害やパンデミックにも負けない、そして折れないタフでしなやかな社会を創造しようというコンセプトです。リスク・ファイナンス、クリミナル・ジャスティス、データ・サイエンスなど新たな科目も増設し、アクティブ・ラーニングの要素を強化した学生主体の授業を展開しています。

Evolution

2 学位を 「学士(危機管理学)」に変更

日本法律学校をルーツとする日本大学の法学教育をベースに、危機管理学部は「学士(法学)」としてスタートしました。発足から7年、危機管理学部は時代や社会環境の劇的な変化と危機管理パーソンへの高まるニーズに対応すべく、2022年度の入学生から、学位(学位に付記する名称)を「学士(危機管理学)」に変更しました。法学を中心とする社会科学に基盤を置く学びを維持しながら、新たな「学士(危機管理学)」にふさわしい先進的な学びを追及していきます。



College of Risk Management

4つの領域を柱に、 危機管理学の学びを広げる!



教員一覧は
コチラ▼



進化中！

3つの教育方針



▲教育方針の詳細は
こちらをご覧ください

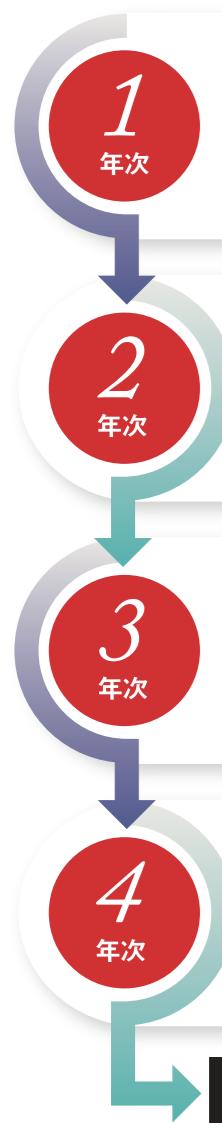
- 1** 卒業の認定に関する方針
Diploma Policy
ディプロマ・ポリシー
- 2** 教育課程の編成及び実施に関する方針
Curriculum Policy
カリキュラム・ポリシー
- 3** 入学者の受入れに関する方針
Admission Policy
アドミッション・ポリシー



学びの STEP

それぞれの進路に向けて、どのようにステップアップしていくのか？

危機管理学部で過ごす4年間を、学びの視点からご紹介します。



1年次は、法学や語学、情報リテラシーなどの総合教育科目を中心に、専門科目の基礎となる幅広い知識を学修します。「自主創造の基礎」と「アカデミック・スキルズ」では、自発的な学修のために必要な知識や態度、技能（レポートの書き方やプレゼンテーションなど）を修得します。1年間の学びを通して、「領域」と「キャリア」という将来の方向性を見極めていきます。



2年次は、専門科目の履修が本格的に始まります。「災害・パブリック・グローバル・情報」の4領域から選択した「主専攻」と「副専攻」を中心に学びを進めることになります。数々の専門展開科目では、従来の大学では受講できないような専門的かつ実践的な学びが待っています。前学期には「基礎ゼミ」が開設され調査や研究、プレゼンテーションの基礎を学び、後学期には自分の関心テーマに合わせた研究室を選択し、「ゼミナール」が始まります。



3年次は、専門的な学びを深める1年です。主専攻と副専攻に加え、他領域の専門展開科目の大半が履修できるようになり、「復旧・復興論」「テロリズム論」「防衛政策」「企業広報論」など高度な学修に取り組みます。学生生活のリズムは「ゼミナール」を中心となり、フィールドワークや共同研究に取り組みます。また、卒業後の進路に向けての活動も本格化し、各種キャリア支援やインターンシップにも多くの学生が参加するようになります。



4年次は、自分が選択した領域とキャリアで培った専門性と社会性を発揮し、自分が目指す道に妥協することなく、進路を確定していきます。そして4年間の学びの集大成として、「ゼミナール」では、卒業論文や卒業研究に取り組みます。また、先輩として3年生に研究や進路についてアドバイスをしたり、卒論の成果を研究会等で発表したりと、学年や大学の垣根を越えた交流も盛んです。危機管理学部での学びを最後まで楽しんでください。



社会の様々な場面で活ける、危機管理能力を身につけた人材へ。

MESSAGE

学部長メッセージ

平和な世界、幸せな社会をデザインするための
リベラルな危機管理パーソンを育てる

学部長・教授

福田 充 FUKUDA Mitsuru

Profile ● 東京大学大学院人文社会系研究科博士課程単位取得退学。博士（政治学）。1995年の阪神淡路大震災以降、危機管理学の研究を始める。コロンビア大学戦争と平和研究所客員研究员や内閣官房等で危機管理・国民保護に関する委員を歴任。



クに対しても、大規模なサイバー攻撃や情報流出に対しても、発生前の平常時から備えて事前の対策を構築しておくことがリスクマネジメントであり、リスクコミュニケーションです。

普段の生活中で、様々な立場から社会の危機管理を支える仕事があります。それは国や自治体の公務員だけでなく、様々な一般企業にも多様な業務の中に危機管理に関わる仕事が存在しています。どうすれば災害の被害を軽減できるか、どうすればテロや戦争をなくすことができるか、どうすれば感染症の拡大をとめることができるか、それは平和なときにならぬ不安な社会に私たち生きています。

そのようなリスク不安にあふれた社会を克服して、平和な世界や、幸せな社会を作り出すための学問が「危機管理学」です。私たちが自然災害を学ぶのは、災害から人を守る安全な社会を創るためにあります。テロリズムや犯罪を学ぶのは人々に安心できる生活をもたらすためであり、戦争や紛争を学ぶのは世界の平和を構築するためです。そうした努力は、人々の平常時における日常生活の中で創り出され、実を結びます。新型コロナウイルスのような新しい感染症パンデミック

すべての危機に対応する「オールハザード・アプローチ」の立場から、一緒に危機管理学を研究し、学びましょう。危機管理学をともに学ぶ仲間を、皆さんをキャンパスで待っています。

College of Risk Management

学祖・山田顕義の理念を受け継ぐ危機管理学部



学祖・山田顕義

日本大学の前身・日本法律学校を創設した学祖・山田顕義は、1844(弘化元)年に現在の山口県萩市に生まれ、14歳で吉田松陰の松下村塾に入門。後に岩倉使節団の一員となり欧米諸国の先進的な文化を視察し、軍備拡充よりも法律整備や教育の普及が急務であることを確信。日本を法治国家とするべく近代法の制度設計に邁進し、司法大臣として、明治法典を編纂。我が国“近代法の父”と呼ばれています。学祖は、欧米諸国との法律を学ぶことが主流だった当時の法学教育に疑問を抱き、1889(明治22)年に日本法律学校を創立。明治維新後の日本が近代化の過程で直面した安全保障や危機管理のあり方を法的な観点から模索し、国際社会で通用する国家建設に尽力しました。危機管理学は新しい学問領域ですが、日本大学の起源とも関わる、非常に重要な研究分野です。



DISASTER
MANAGEMENT

災害マネジメント 領域



災害を未然に防ぎ対処する 災害マネジメント力向上を目指して

災害マネジメント領域は、地震や津波、台風などの自然災害、あるいは原発事故など広く災害と呼ばれる現象を扱う領域です。特に焦点を当てるのは、災害と関連する法制、災害に取り組む政府や地方自治体、企業などの各種主体、地域コミュニティ、個々人の心理や情報といった社会的諸要素です。この領域の各科目は法学や政治学、社会学、工学、心理学などの学際的な観点から災害と向き合うわれわれの社会のあり方、向き合い方に対する理解を深め、社会において具体的な対策を考えるための力を養います。

主な科目

- ▶ 災害対策論
- ▶ 大規模事故論
- ▶ 事故責任法制
- ▶ 事業継続論
- ▶ 災害情報論
- ▶ 地域防災論
- ▶ 原子力と安全
- ▶ (BCP・BCM)
- ▶ 自然災害論
- ▶ 灾害史
- ▶ 復旧・復興論
- ▶ 消防救急論
- ▶ 感染症対策論

教員紹介

専門は公共政策学。主に防災政策を研究対象とする他、これまで国民保護、感染症対策、消防行政に関する研究に従事。現在関心のある研究テーマは、防災政策におけるローカル・ガバナンス、防災政策におけるDX、自治体及び民間企業におけるBCP等。本学部では1年生の「リスクマネジメント」の他、「災害対策論」、「消防救急論」、「事業継続論」等を担当。



**准教授
山下 博之**

YAMASHITA Hiroyuki

教員紹介

1980年警察庁採用。埼玉、栃木、山梨の各県警察本部長、内閣官房、在タイ日本大使館等での実務経験を有し、ハーバード大学客員研究員としてクリミナルジャスティスを研究。この間東京大学、京都大学等の公共政策学院で教鞭を執る。2016年教授。社会安全政策論、警察行政、犯罪と捜査などを担当。2022年特任教授。著書は、新版警察行政概論、社会安全政策論、警察の倫理など。



**特任教授
金山 泰介**

KANAYAMA Taisuke

安全安心な社会を守る

クリミナルジャスティス教育の確立を目指して

パブリックセキュリティ領域では、犯罪や事故のように主に人に起因する危機に対処するための法制度、政策などを中心に学びます。これは、社会生活を送る上で、常にについて回る犯罪や事故のリスクへの対処そのものです。こうした学術分野の教育・研究は欧米では1970年代から盛んに行われており、クリミナルジャスティス(Criminal Justice)と呼ばれています。本学部のパブリックセキュリティ領域は、我が国の大学では初めてのクリミナルジャスティス教育プログラムなのです。

主な科目

- | | | | |
|--------------|------------------|--------------|----------|
| ▶ 社会安全政策論 | ▶ 国民保護 | ▶ インフラセキュリティ | ▶ 経済刑法 |
| ▶ 刑事司法手続I・II | ▶ 警察行政 | ▶ 犯罪と捜査 | ▶ テロリズム論 |
| ▶ 犯罪心理学 | ▶ 法医学 | ▶ 少年法 | |
| ▶ 犯罪と法II | ▶ インテリジェンスコミュニティ | ▶ 被害者学 | |

Student's voice



自然災害のある 未来を考える

災害のある未来を理解するために、危機管理学部に入学しました。近年、首都直下地震や南海トラフ地震といった首都機能に甚大な被害をもたらすことが想定されている災害が注目されています。これらの災害はいつ発生するかわかりません。また、災害を正確に予想し被害をゼロにすることもできません。自然災害は多くの人の未来を奪います。自然災害と自然災害に対処する方法を理解することによって、自分たちの未来を自分たちで守る力を身につけていと考えています。災害マネジメント領域では、災害に対する人々の価値観に关心を持って勉強をしています。人々の災害観を

災害マネジメント領域 4年生 阿部 楓香さん

理解するために、ゼミでの研究だけでなく、地元の消防団に所属し、多様な災害観への理解を深めています。将来は、多様な災害観を理解できる危機管理パーソンを目指しています。



Student's voice



他学ではできない 学びがある

警察官のように社会の安全や市民の平穏を守るという仕事に憧れを抱き、公共のために尽くす仕事に就きたいと考え、法学だけでなく、より実務的な学びができる、この危機管理学部を選択しました。パブリックセキュリティ領域では、犯罪や事故の現状及びその予防や捜査のための法制度、政策などの企画立案から実際の運用とその評価まで、専門的かつ実務的な学びを深めることができます。そうした学びを基に、所属するゼミでは、近年メディアで取り上げられることも多くなった、高齢者の交通安全について、高齢ドライバーの事故防止や高齢歩行者の被害防止といっ

パブリックセキュリティ領域 4年生 長田 潤さん

た観点から研究を進めています。また、警察官という同じ志を持った仲間達と日々、切磋琢磨し、助け合いながらそれぞれの研究だけでなく、公務員試験の対策等にも力を入れて取り組んでいます。





GLOBAL
SECURITY

グローバル セキュリティ領域



変動する国際情勢を注視しながら 日本と世界の平和・安定を目指して

グローバルセキュリティ領域では国際秩序を維持する安全保障、国際法などの法制度、国際テロリズムなどの国境を越える脅威に焦点を当てます。また国際的な環境破壊、難民、人権侵害、貧困、感染症など対象範囲が広いため、世界的な視野を持って多様な危機管理に携わるための素地を養うことができます。常に日々変動する国際情勢の動向を注視しつつ、紛争や領土問題など今そこにある危機の事例などを通じて、今後の日本と世界の平和・安定に向けた具体的な取り組みを考えていきます。

主な科目

- ▶ 国際政治学
- ▶ 安全保障論1
(国際安全保障)
- ▶ 国際法
- ▶ 防衛法制
- ▶ ストラテジー
- ▶ 外交史
- ▶ 安全保障論2
(国家安全保障)
- ▶ 観光リスクマネジメント
- ▶ 國際人權・人道法
- ▶ 國際關係論
- ▶ 防衛政策
- ▶ 和平構築論
- ▶ 國際化と国境管理

教員紹介

専門分野は国際法。国際テロリズムをはじめ、国際犯罪に対する国際法による規制について研究。ロシアによるウクライナ侵攻をめぐり、国際刑事裁判所による対応にも関心を有しています。「地球規模の危機管理」をコンセプトに、「国際法」、「国際人権・人道法」、「平和構築論」等を担当。単著に「国際テロリズムに対する法的規制の構造」。博士(国際関係)。2016年より法務省難民審査参与員。



教授
安藤 貴世
ANDO Takayo

教員紹介

早稲田大学教育学部理学科卒業。日本IBMにて保険業界のフィールドサポート部門のエンジニアとしてPC管理システムの保守、保険アプリの開発、Webシステムの構築、ナレッジシステムの構築、大規模システムの移行等を担当。専門分野はインフラ、セキュリティ、開発プロジェクト管理。



教授
美濃輪 正行
MINOWA Masayuki

Student's voice



国際社会が抱える多様な 課題の解決に向けて

グローバルセキュリティ領域では、国際紛争やテロリズム、地球環境問題をはじめ、国際社会で生じている様々な危機や脅威について学ぶことができるため、専門的な知識を修得するだけでなく、ものごとを多面的に捉えられるようになったと感じています。授業では時事問題を扱うことも多く、世界で起きている出来事に対してリアルタイムで理解できることも、勉強するうえでの楽しみのひとつとなっています。私が所属するゼミナールでは、国際法に関連する世界の諸問題について各自でテーマを設定し、卒論執筆に向けて研究を進めます。私は無国籍の観点から口ヒ

グローバルセキュリティ領域 4年生 原 しづくさん

ンガ難民について研究していますが、ゼミの仲間や先生と議論をするなかで、現在の国際社会が抱える多種多様な課題を認識するとともに、それらの解決策について考察を深めています。



Student's voice



情報セキュリティを学ぶというのは 「未来」を学ぶということ

私が情報セキュリティ領域を選んだ理由は、今後様々な職業や企業活動で情報技術が必須なものになると考へたからです。昨今、企業では情報セキュリティ管理を強化しようとする動きがしばしば見られますが、そのような情報技術の知識を身に付けることで、「未来」を予想して、この社会のニーズに応えられるような人材を目指しています。この分野を学修すると、今起こっている情報漏洩やサイバー攻撃等の事件でどのように情報技術が利用されているか、また被害を受けた側でどのような弱点があったか、更に問題解決に向けて何をすればよいかということが具体的

情報セキュリティ領域 4年生 クルモフ 詞文さん

に分かってきます。この達成感は他ではなかなか味わえないもので、将来のキャリア形成に大いに役に立つと思います。未来を見据えた「情報の危機管理」を是非一緒に学んでみませんか?



INFORMATION
SECURITY

情報セキュリティ 領域



法学系科目

危機管理の基本となる法学知識

主な科目

- ▶ 法学概論
- ▶ 犯罪と法I
- ▶ 企業組織と法
- ▶ 憲法と人権
- ▶ 民事法I・II・III
- ▶ 民事手続と法
- ▶ 立憲主義と統治
- ▶ 企業取引と法
- ▶ 経済法
- ▶ 行政法と行政過程I・II
- ▶ 企業統治と法
- ▶ 外国法



立憲主義に基づいた危機管理制度

教授 杉山 幸一 SUGIYAMA Koichi

専門は憲法です。特に危機的状況において人権をどこまで制限していくのか、制限してはならないものは何か、立憲主義に基づいた危機管理制度を研究しています。憲法は国家の基本法であり、危機に際しても憲法に則った対応が求められ、無視することはできません。その為に、担当科目「法学概論」で法律の基礎、「憲法と人権」で人権保障について学びます。

GENERAL EDUCATION

総合教育科目

危機管理パーソン養成のための基礎教養の充実

人文・社会・自然科学の教養を幅広く学び、情報リテラシーや文章表現などのスキルを修得します。英語科目では、日本人教員と外国人講師が連携し、習熟度別クラスで授業を行うことによりバランスのとれた学びを提供します。

主な科目

- | | | |
|------|------|----------------|
| 倫理学 | 政治学 | 救急処置法 |
| 宗教学 | 経済学 | 自主創造の基礎 |
| 文学 | 地理学 | アカデミック・スキルズ |
| 文章表現 | 心理学 | コンピュータ・情報リテラシー |
| 教育学 | 統計学 | 英語I～VIII |
| 社会学 | 地球科学 | 中国語I～IV |

法律を活かし危機に対処する

法学知識は危機管理の基礎となるものです。リスク社会とされる現代で、無数に偏在する危機に対処するために用いられています。そして、その法律の頂点に位置するのが憲法です。これらのことから、危機管理の根底にあるのは憲法であると考えられます。憲法によって保障されている人権を守るために手段として危機管理が必要となるのです。「憲法と人権」では、危機管理の際、公共の福祉のために人権を制限せざるをえない場合があることを学びました。これは現在の私の研究テーマである「テロ対策における情報収集と人権」にも密接に関わっています。1年次から学び続けてきた法律が、セミナーを通じて実を結んでいるのです。将来は身につけた法律知識を活かし、国家公務員としてテロ未然防止に努めたいです。

バブリックセキュリティ領域
4年生 堀江 優希さん

Student's voice



留学・国際交流

STUDYING ABROAD

グローバルな危機管理学の修得に最適な留学プログラム

留学は異文化を理解し、多様な価値観を受け入れ、高いコミュニケーション能力を身につける絶好の機会です。コロナ禍で不確定要素も多いですが、本学には、米国ウェスタンミシガン大学留学プログラム(約1年間)のほか、夏季休暇中に開催される日本大学主催の短期海外研修プログラムなどがあります。

長期留学プログラム(8月～約1年間)

米国ウェスタンミシガン大学 派遣留学プログラム

ウェスタンミシガン大学は、ミシガン州カラマズーにある1903年創立の州立の総合大学です。カラマズーは、デトロイトやシカゴから車で2～3時間程度に位置し、治安も良好な街です。



日本大学主催 短期海外研修



学生生活サポート

STUDENT LIFE SUPPORT

修学支援制度・奨学金

日本大学は、「高等教育の修学支援新制度」の対象校に認定されており、その対象となった受験生は入学後に授業料が減免されます。また、奨学金も家計困窮者の支援を目的とした日本大学創立130周年記念奨学金(第2種)(30万円給付)など、学内外を含め充実しています。



詳細は[こちら](#)

保健室・学生支援室

保健室には看護師が常駐し、ケガの応急処置や健康相談、大学近隣の医療機関の案内や、日本大学病院への紹介状作成などを行っています。学生支援室では、教職員・保健室と連携し、臨床心理士の資格を持つカウンセラーが、修学や学生生活に不安を抱えている学生に対して、カウンセリング及び支援をしています。

学生寮・提携学生寮

日本大学では、複数の大学直営寮(男子寮・女子寮)を完備し、経済面・安全面の両面から、一人暮らしをする学生の学修を支援しています。入寮時の初期費用がほとんどかかりず、基本的な家具・家電などの生活必需品が揃い、インターネット接続も無料です。提携学生寮では、寮長・寮母が常駐し、朝・夕の食事が付いています。全室個室で家具類は備え付け、共用設備も充実しており、快適な学生生活が送れるように様々な配慮がされています。



学生寮の詳細は[こちら](#)

三軒茶屋キャンパスの施設

FACILITIES

様々な防災機能を備えた三軒茶屋キャンパスはスポーツ科学部と共に使用です。

1号館は地下2階、地上8階建てで、教室、学生食堂、体育施設等を有します。2号館は5フロアにわたって図書館施設を有します。充実の設備で快適な学生生活を送ることができます。



卒業生紹介

社会のあらゆるフィールドで活躍する
危機管理パーソン。

危機管理学部生は、危機管理能力と問題解決力を身につけ、多種多様な業界で活躍する人材となります。



令和元年度卒 綱島琴音さん

災害に対応するために

ゼミでは、空港等大規模施設の災害時の役割を研究しました。ホテルではリスクマネジメントを心掛け、ゲストが安心して滞在できるよう配慮しながら働いておりました。現在は本社勤務です。在学中に学んだことはどれも貴重で、危機管理学部に入学して良かったと思います。



令和元年度卒 水村 宗さん

首都東京の治安を守り抜く

現在は、地域警察官として交番で勤務し、パトロール等の防犯活動や検挙活動を通じて、首都東京の安全安心を守っています。忙しい中でも充実した日々を過ごせているのは、何事も相談できる仲間や、ご指南いただいた教授との出会いがあったからです。危機管理学部だからこそ、目標に向かって、全力で取り組めると思います。



令和2年度卒 三嶋 梨花さん

市民の権利を守るために

現在、地方公務員として行政事務に携わっています。危機管理学部で修得した法に関する知識は、市民の権利を守るために必要不可欠であると実感しています。危機管理学部での学びは、専門性が高く充実しているので、卒業後は社会に大きく寄与できると思います。



令和2年度卒 板橋 大地さん

リスク管理サービスで安心・安全を

情報セキュリティにおける監視サービスの提供とお客様からの問合せに対応することが主な業務です。監視サービスでは、迅速に判断することが求められます。また、様々な問合せに適切にアドバイスすることの難しさも実感しています。お客様から高い評価を頂くこともあります。仕事に張り合いを感じています。

キャリアサポート

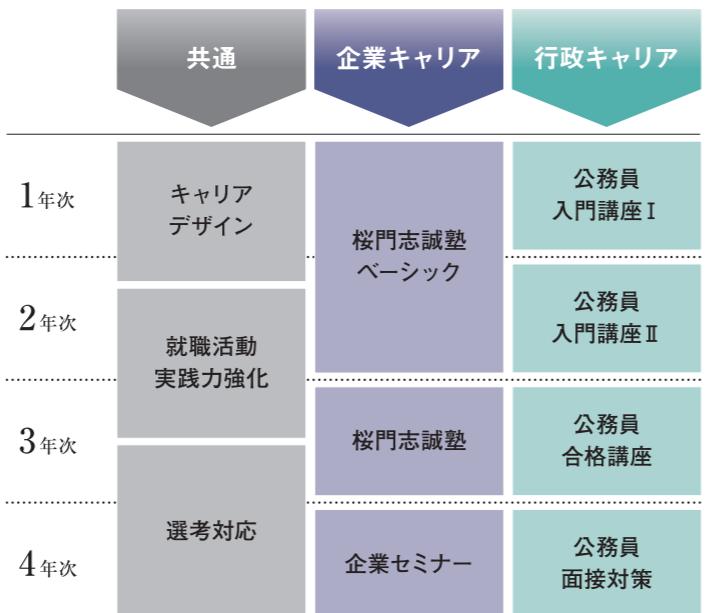
CAREER SUPPORT



詳細はこちら

三軒茶屋キャンパス 「キャリア支援プログラム」

行政キャリア、企業キャリアそれぞれの志望に応じたプログラムが構成されています。共通領域のプログラムのキャリアデザインの局面では、自己分析と業界・企業研究を、就職活動の実践力強化の局面ではエントリーシート作成指導、面接対策、適性試験対策、キャリアカウンセラー相談のプログラムが提供されます。これらの講座は、多様化する選考採用のあり方や学生の就職活動を始める時期の違いを考慮して設けられています。共通領域のプログラムでは全ての就活生に求められる技能を養成し、行政・企業キャリア向けプログラムでは、志望先に応じた深掘りを行います。



インターンシップ

「キャリア・デザインI・II」という正課科目を配置しています。これらの科目では、危機管理と関連のある企業や自治体についての業界研究・企業研究とインターンシップを通じて、危機管理に関わる仕事について知り、理解を深めることができます。

公務員講座

公務員を志望する学生に向けて、1年次から学べる公務員対策講座を独自に開講しています。公務員試験相談コーナーが開設され、公務員試験に関するあらゆる質問を専任の相談員や教員に相談したり、面接の指導を受けることができます。

桜門志誠塾

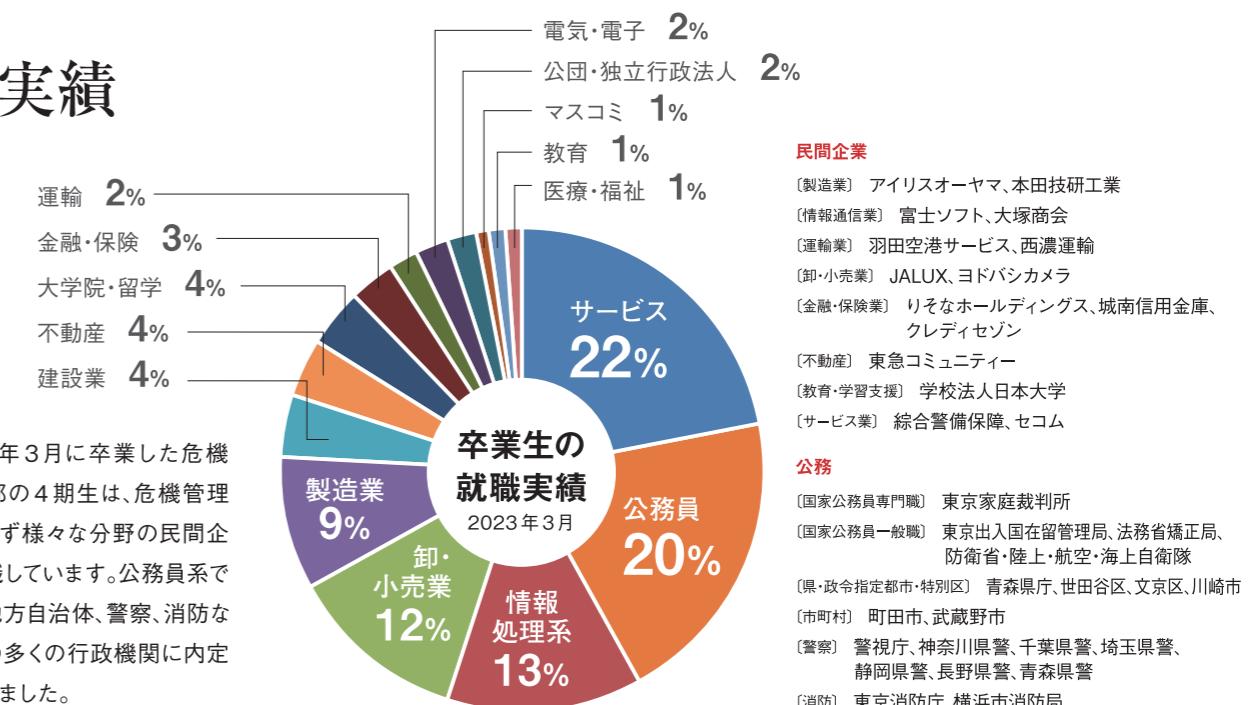
就職難関企業突破を目指す3年生向けに就活特訓塾「桜門志誠塾」を開講しています。就職活動に求められる実践的な社会人基礎力の強化を目指した課外授業の形式で20回以上のプログラムで構成されています。

キャリアカウンセリング

就職・インターンシップ・公務員等の進路を検討する際にプロのカウンセラーに相談することで、多くの選択肢の中から最良の選択を導くための手助けをしてくれます。履歴書やエントリーシートの添削、面接の指導などあらゆるサポートを受けることができます。

進路実績

CAREER



大学院情報 大学院 危機管理学研究科 修士課程(2023年4月開設)

2023年4月、大学院危機管理学研究科修士課程が新設されました。災害、テロ、国際紛争など、複雑化した現代の様々な危機に、法学を中心とした政治学、国際関係学等の社会科学の知見を統合した危機管理学の学識を適用して的確に対処し、翻ってレジリエントな社会の創造に貢献する人材を養成します。

本研究科は危機管理の理論と実務を先導する高度専門職業人と指導的人材を養成します。具体的な進路としては、博士後期課程を経ての大学教員、研究所研究員のほか、中央官庁、地方自治体の危機管理部門専門的職員、BCPなど危機管理の諸分野についての高いニーズを有する民間企業の総合職員等を想定しています。



詳細はこちら

令和6年度 入学試験情報

ADMISSIONS INFORMATION

募集人員 25名

出願資格(次の①・②のいずれかに該当する者)

- ①高等学校又は中等教育学校を卒業した者及び令和6年3月卒業見込みの者。
- ②高等学校又は中等教育学校を卒業した者と同等以上の学力があると認められる者及び満たす見込みのある者で、入学時点で18歳に達している者。

出願要件(次の要件に該当する者)

本学部のアドミッション・ポリシー及び教育内容を理解し、本学部への入学を第一志望とし、合格した場合、本学部に入学することを確約できる者。

※専願方式です。

入試日程及び選考方法

[総合型選抜説明会]※参加は任意

令和5年6月18日(日)、7月23日(日)

のオープンキャンパス内で実施。

※この他、危機管理学部ホームページに7月24日(月)～9月21日(木)の期間、説明動画を掲載します。

第二次選考に「総合問題試験」

第二次選考において複数教科にまたがる「総合問題試験」を実施します。危機管理学を学ぶうえで現代社会を理解するための基礎的な思考力等を問います。中心となる教科・科目は公民科「現代社会」とし、「現代社会の諸課題」を「的確な資料」により説明し、自らの考えを述べることができるかが問われます。資料等を読解するための『国語』の能力や、中学校の学習内容も含まれます。

詳細は、危機管理学部ホームページ
「総合型選抜特設ページ」をご確認ください。
過年度の問題も掲載予定。



一般選抜

方式	学科・募集人員	試験日	受験教科科目数	教科・科目	配点
一般選抜A個別方式	危機管理学科 105名	令和6年 2月4日(日)	3教科 3科目	国語 「国語総合(漢文を除く)」	100
				地理歴史 公民 数学	「日本史B」、「世界史B」、「政治経済」、「数学I(データの分析を除く)・数学II・数学A・数学B(確率分布と統計的な推測を除く)」のうちから1科目選択
				外国語	「コミュニケーション英語I・コミュニケーション英語II・コミュニケーション英語III・英語表現I・英語表現II」

※上記の得点を標準化得点に換算し、合否判定する。

総合型選抜

方式	学科・募集人員	試験日	受験教科科目数	教科・科目	配点
N全学統一方式(第1期)	危機管理学科 15名	令和6年 2月1日(木)	2教科 2科目	国語 地理歴史 公民 数学①	「国語総合(漢文を除く)」、「日本史B」、「世界史B」、「地理B」、「政治・経済」、「数学I・数学II・数学A・数学B(確率分布と統計的な推測を除く)」のうちから1科目選択
				外国語	「コミュニケーション英語I・コミュニケーション英語II・コミュニケーション英語III・英語表現I・英語表現II」

※上記の選択科目を指定科目数以上受験した場合は、高得点の科目を合否判定に使用する。

※上記の得点を標準化得点に換算し、合否判定する。

一般選抜

方式	学科・募集人員	試験日	受験教科科目数	教科・科目	配点
N全学統一方式(第2期)	危機管理学科 10名	令和6年 3月4日(月)	2教科 2科目	国語 地理歴史 公民 数学①	「国語総合(漢文を除く)」、「日本史B」、「世界史B」、「地理B」、「政治・経済」、「数学I・数学II・数学A・数学B(確率分布と統計的な推測を除く)」のうちから1科目選択
				外国語	「コミュニケーション英語I・コミュニケーション英語II・コミュニケーション英語III・英語表現I・英語表現II」

※上記の選択科目を指定科目数以上受験した場合は、高得点の科目を合否判定に使用する。

※上記の得点を標準化得点に換算し、外國語の得点を1.5倍にして、他の1科目と合わせて合否判定する。

● オープンキャンパス・進学相談会日程

日程	内容
第1回	6月18日(日)
第2回	7月23日(日)
第3回	8月27日(日)
第4回	11月5日(日)
第5回	2024年3月 予定

オープンキャンパス・進学相談会についてのお問い合わせは TEL:03-6453-1700

新型コロナウイルス感染状況等により、日程の変更やオンライン方式への変更、予約制となる場合があります。



オープンキャンパス・進学相談会の情報は
こちらをご覧ください。

● 総合型選抜

学科	募集人員	志願者数	受験者数(A)	合格者数(B)	競争率(A/B)	競争率(令和4年度)
危機管理学科	15	63	52	33	1.6倍	2.3倍

● 一般選抜

方式	募集人員	志願者数	受験者数(A)	合格者数(B)	競争率(A/B)	競争率(令和4年度)	合格者最低点	
							令和5年度	令和4年度
A個別方式	105	686	667	333	2.0倍	2.3倍	300	149.9 153.0
N全学統一方式(第1期)	15	671	636	200	3.2倍	2.7倍	200	113.9 108.9
N全学統一方式(第2期)	10	181	153	41	3.7倍	3.7倍	250	142.1 142.2
A+N1+N2 計	130	1,538	1,456	574				

納入金

種別	項目	初年度納入金		
		入学手続時	後学期(9月)	計
学費	入学金*1(初年度のみ)	260,000円	—	260,000円
	授業料	430,000円	430,000円	860,000円
	施設設備資金	100,000円	100,000円	200,000円
その他	日本大学三軒茶屋キャンパス後援会費	15,000円	15,000円	30,000円
	日本大学校友会準会員(在学生)年会費*2	10,000円	—	10,000円
	計	815,000円	545,000円	1,360,000円

*1 納入金は変更になる場合があります。必ず入学試験要項(募集要項)をご確認ください。

*2 卒業年度後学期に正会員会費初年度分を10,000円納入。

危機管理学部 入試情報

https://www.nihon-u.ac.jp/risk_management/admissions/

日本大学 入試情報

https://www.nihon-u.ac.jp/admission_info/application/

学部の動向や
イベントのお知らせなど
最新情報を発信!
ホームページ・
公式Twitterの
ご紹介



▲
危機管理学部
ホームページ



▲
危機管理学部
Twitter



▲
危機管理学部
Instagram